

第5回 鎌倉市本庁舎整備方針策定委員会 議事要旨

1. 開催日時

平成29年3月9日（木）14時00分から15時00分

2. 開催場所

鎌倉市役所 本庁舎 4階 402会議室

3. 出席者等

【委員】

国吉直行委員長
久保田陽彦副委員長
河野眞知郎委員（欠席）
増井玲子委員（欠席）
目黒公郎委員（欠席）
井手太一委員
大崎厚郎委員
奴田不二夫委員
矢澤基一委員

【幹事】

服部基己（行革推進課担当課長）
齋藤 学（情報推進課長）
服部計利（財政課長）（欠席）
上田保明（管財課長）
長崎聡之（総合防災課長）
川村悦章（まちづくり政策課長）
都筑征史（建築住宅課担当課長）（欠席）
西山 朗（文化財課担当課長）

【事務局】

比留間彰（経営企画部長）（欠席）
大隅啓一（経営企画部次長）（欠席）
佐々木聡（経営企画部経営企画課担当課長）
鈴木康之（経営企画課課長補佐）
石塚智一（経営企画課公共施設再編推進担当担当係長）
坪田慎介（経営企画課公共施設再編推進担当）

【事務局（業務協力者）】

大野 整（株式会社都市環境研究所）
西村卓也（株式会社都市環境研究所）
荒井恭一（株式会社ミライカナイ）

【傍聴者】

11名

【メディア】

6名

4. 次第

- 1 開会
- 2 報告
 - (1) 前回議事録について
- 3 議題
 - (1) 意見公募の結果及び意見に対する市の考え方について
 - (2) 鎌倉市本庁舎整備方針（提言）の確定について
- 4 その他

5 閉会

5. 報告

(1) メディアからの撮影の申し出について

事務局 本会議の様子について、メディアより写真撮影、テレビカメラ撮影を行いたいという申し出をいただいている。本委員会条例施行規則では会議中の取材対応に関する規定はないため、対応についての確認を願いたい。撮影は冒頭の様子のみと伺っている。現在、申出者は室外に待機しており、入室及び撮影可能であれば案内したいと考えている。

国吉委員長 本委員会条例施行規則第8条では、その他の事項として「この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。」とある。委員会の会議中の取材対応について委員の皆様へ伺いたい。本委員会は公開して行うこととしており、取材も冒頭の撮影のみである。この程度の取材協力であれば審議には特に影響はない問題ないと思われるため、入室及び撮影を許可してよいか。

全委員 (異議なし)

(2) 前回議事録について

事務局 【資料1 第4回鎌倉市本庁舎整備方針策定委員会 議事要旨(案)を説明】

これでよろしいかご確認いただきたい。よろしければ確定版として鎌倉市ホームページに掲載させていただく。

国吉委員長 各委員に事前にご確認いただいていると思われるが、事務局の提案についてはよろしいか。

全委員 (異議なし)

6. 議題

(1) 意見公募の結果及び意見に対する市の考え方について

事務局 【資料2 鎌倉市本庁舎整備方針(素案)に対する意見公募の結果を説明】

【資料3 鎌倉市本庁舎整備方針(素案)に対する意見と市の考え方整理表(未定稿)を説明】

奴田委員 パブリックコメントを見ると、現在地に残したい意見もあり、深沢地域整備事業用地への移転に対する反対の意見もある。

移転先についてまだ定まっていないが、個人的には、移転自体は結構であると考えている。ただし、前に配布された「市民の想い」をみると、「気楽に立ち寄れる市役所にしてほしい」という意見もあった。気楽に立ち寄れる場所とは、JR線の駅前や買い物の場所となると思われ、鎌倉市内だと鎌倉駅や大船駅の周辺が挙げられる。深沢地域整備事業用地はモノレールの駅に近いからアクセスが良いという評価であるが、市の西側の住民は通いやすいかもしれないが、東側や南側はわざわざモノレールに乗らなければならないため、市民が気軽に行ける場所と

は限らない。

事務的な機能を集約することを想定するなら、野村総合研究所跡地に移転しても良いと考えられ、現在地は市民が集まりやすい場所として活用しても良いのではないか。

埋蔵文化財については、現在地の周囲には2棟のマンションが建てられており、自分の家も含めていくつのかのビルも整備されている。発掘調査について大三輪龍彦先生は、この辺りは下級武士の住宅があったとおっしゃっていた。本日欠席の河野委員に伺ってみたいと考えていたことは、この場所にどのようなものが埋まっていると想定しているのかということである。現在地に市民が集まる場所の機能をもった建物を建てていく考えもあるのではないかと感じており、コスト面の課題もあるが、市民のためであれば検討しても良いのではないか。

また、現在地について鎌倉駅西口からの道路が変形であるために不便であるという評価もあるが、西口周辺の整備計画があったことを事務局は把握しているか。その計画では、市役所前の信号が十字路として整備することとしており、そのために2,400万円かけて野村證券前の用地を買収している。以前、私とその委員会での地域の座長に就き、計画の良さを感じていたが中止となってしまった。計画通り道路が整備されれば、現在地へのアクセスも良くなると考えている。

私自身としては、事務的な機能をいくつかの場所に設置する良さはあるが、このような会議を行う際はここで行える方が良く、現在地には市民が利用できる機能を残してほしいと思う。現在地の活用についても意見を述べさせていただきたい。

事務局

埋蔵文化財については、提言の23ページに記載している。現在地は、周知の埋蔵文化財包蔵地である今小路西遺跡に該当しており、隣地の御成小学校を建替える際には遺跡が発掘されている。昭和59年から平成4年に行われた発掘調査では、中世の都市遺構及びその下に古代の郡衙と推定される遺構群が確認されている。河野委員のこれまでのご意見にもあったが、隣接敷地から最高級の武家屋敷跡が出土していることから、この場所でも同等の遺跡が出てくる可能性があるかと想定している。

ただし、現在の本庁舎が建っており、地下利用となっている部分については、遺構部分を既に壊して地下を掘っている可能性があるため、その部分については土地利用が可能であると想定している。

国吉委員長

これまでの委員会における文化財の専門家である河野委員のご意見も踏まえると、全く文化財がないとも考え難く、それを踏まえた現在地の活用方法を考えていく必要がある。

現在地の活用については、パブリックコメントでも多くの方から指摘されている。また、本委員会でも「市役所とは何か」という議論があったことから、新たな市役所のあり方もあるかもしれないが、今回の議論としては市役所のオフィス機能を中心に、緊急時の対策も踏まえて議論していきたい。

私自身としても、この地区のシンボル性を大事にしたいと考えており、パブリ

ックコメントでも同様の意見がみられる。委員の皆様も同様のお考えであると感じており、今後の検討に反映してもらいたいと考えている。

久保田副委員長

我々はこれまでの4回の委員会において事務機能の立地場所について議論してきた。窓口対応機能はここ（現在の市役所の場所）に残すべきであるが、それ以外の事務機能は移転しても良いということが我々の考えであったと認識している。事務機能の移転先は深沢地域整備事業用地でも野村総合研究所跡地でも良く、あるいは分散移転という考え方もある。ここ（現在の市役所の場所）の利用価値は市民の皆様もご理解されており、印鑑証明等がコンビニでも取れる時代ではあるが、窓口で相談したい方がいるので、縦割りの窓口ではないコンシェルジュ的に対応できる総合的な窓口機能をここに置くことが一番良いと思われる。もちろん移転先でも同様な機能があることが望ましいが、まずこの場所にそのような機能を残した上で、市役所のその他の事務的な機能は移転しても良いと考えられる。

国吉委員長

パブリックコメントについて欠席の委員からの意見はあったか。

事務局

パブリックコメントに対する欠席の委員からの意見は特にないが、整備方針の内容に関する意見は後ほど紹介する。

(2) 鎌倉市本庁舎整備方針（提言）の確定について

事務局

【資料4 鎌倉市本庁舎整備方針（提言）（案）を説明】

【資料5 鎌倉市本庁舎整備方針（素案）からの主な修正内容を説明】

本日も欠席の委員からのご意見もいただいているので、紹介させていただく。

目黒委員から、単純に新しい場所に本庁舎を建てるのみではなく、まちづくりの観点から庁舎づくりをどのように進めていくのかについて、市の方で検討していただきたいと伺っている。またもう一点として、移転後に現在地が持っている魅力やポテンシャルを活かしていくことも市の方で検討していただきたいと伺っている。

他の委員からは特にご意見は承っていない。

国吉委員長

本委員会では、本庁舎の現在地建替えや移転等について議論する場ではあったが、移転を進めるという提言の中で、当該地の今後のあり方も市の方であわせてご議論いただきたい。

今後も地区のポテンシャルや市民にとってのシンボル性を高める配慮が必要であるため、移転後の現在地のあり方の検討も行っていくことを提言に記載している。

久保田副委員長

可能であれば、年度明け4月からでも現在地や市が所有している土地の活用方法について10年、20年のスパンで、未来の鎌倉に望ましい有効利用という観点でご検討いただきたい。本委員会でも学校統廃合等の話題が出たが、市有地の活用方法の検討を行うことが我々の提言を現実的にするものであると考えており、本庁舎整備とは別に検討委員会を立ち上げていただきたい。

国吉委員長

提言と合わせて市長にお伝えしたい。

- 井手委員 本庁舎の移転をきっかけに、鎌倉の将来像を考える委員会は必要であると感じている。現在地の活用方法については十分に議論してほしいと考えている。
- 矢澤委員 当初は現在地建替えが良いと感じていたが、高さ制限や遺跡、コスト面等も踏まえて、移転が良いという案に現在は賛成している。
- 国吉委員長 現在地の再利用を考える際には、周囲の公共施設機能の移転や遺跡との関係等の課題もある中で難しさはあると感じているが、旧鎌倉地域の住民の方々が憩え、最低限の手続きが行える機能は残していくべきであると感じている。
- 国吉委員長 現在地の有効活用が重要視される一方で、河野委員がご指摘するようにここにもどのような埋蔵文化財があり、どのような活用が可能かを早めに把握することが重要である。本庁舎整備の計画づくりと合わせて、現在地の実態を把握する作業も進めていただきたい。
- 全委員 (特になし)
- 国吉委員長 修正についての指摘は特にないが、今回いただいた意見は提言書と合わせて委員会から市にお伝えしたい。
- 事務局 パブリックコメントに対する市の考えについては未定稿であるが、委員会でこれまでも議論してきた経緯や、検討におけるデータの積み重ねもあるため、ご意見をいただいたものに回答をしていただきたい。
- 事務局 先ほど久保田副委員長や井手委員からもご意見があったが、今回提言をいただき、市として移転を決定したとすると、移転先の候補地はどこが良いか、現在地の跡地活用をどうしていくべきかに加えて、提言にも触れている野村総合研究所跡地の様に寄附をいただいている市内の低未利用地を全市的な視点でどのように扱っていくかについて平成 29 年度に検討していきたいと考えている。今回、議会にもそのための委員会の設置について上程しており、審議を経て可決されれば、そのような取り組みも平成 29 年度に行っていき、土地利用やまちづくりに関する議論を進めていきたいと考えている。
- 国吉委員長 提言の中でも候補地について触れており、要点を絞りながら深沢地域整備事業用地を挙げているが、これが決定ではない。深沢地域整備事業用地を基本としつつ、パブリックコメントにもある様な他の敷地の可能性も視野に入れていくことになると考えている。
- 奴田委員 防災の拠点という観点が重視されているが、その場所でなければ享受できないということでは望ましくない。鎌倉には 17 万人の市民がおり、海や山に住まわれている方もいることから、防災の拠点としてのあり方と本庁舎の役割は整理して考えておくことも重要である。また、津波災害のことを特に取り上げているが、地震による土砂災害等もあり得るため、防災の拠点という考え方のみを大きく捉えて本庁舎整備を進めるのは難しい。
- 国吉委員長 本委員会で取り上げてきた本庁舎における防災の拠点とは、災害時の中枢としての機能であり、どんな時でも対応できる機能を備えていること、様々な災害に

びくともしない構造であることなどが重要である。地区ごとの防災機能については別途検討されているものと考えている。

事務局 これまでの委員会でも目黒委員から防災中枢機能のあり方として、発災時の一刻も早い復旧という観点で自衛隊をはじめとする関係機関の支援に対する受援力等についての重要性をご指摘いただいた。東日本大震災や熊本地震についての目黒委員の知見も踏まえ、防災中枢機能を有する庁舎が望ましいという観点から評価軸に加えさせていただいた。

国吉委員長 提言については特に修正はないが、各委員の意見は私の方に一任させていただき、市にお伝えしたいがよろしいか。

全委員 (異議なし)

7. その他

事務局 【今後のスケジュールについて説明】

議事録については、毎回委員会で確認をいただいているが、今回が最終会のため、メール等により確認をいただきたい。

一年間様々なご意見をいただきありがとうございました。提言として市長にご提出いただく形となるが、事務局として微力ながら務めさせていただいた。本庁舎整備方針については移転となっており、現在地にどのような機能を残していくかについての機能配置のイメージも本委員会での議論をもとにまとめさせていただいている。今後はこの提言を受けて、市としての方針を確定していくとともに、先ほども久保田副委員長からご指摘があったように全市的な視点から公的不動産の活用のお考え方を取り組める委員会も立ち上げていければと考えている。

国吉委員長 各委員から一言ずつお願いしたい。

大崎委員 各委員、事務局の皆様ありがとうございました。

今回本委員会に参加できたことを光栄に思うとともに、私の所属する団体でも今後の鎌倉について議論していきたいと考えている。

久保田副委員長 事務局の皆様、資料の準備等ありがとうございました。

本委員会の議論内容は市民からのご意見も非常に多く、市民の関心が高いものであったと感じている。今回の提言を真摯に受け止め、今後、鎌倉をさらに良いまち、住みやすいまちにしていくために考えることが重要であり、所属団体も含めてこれからの鎌倉について議論していきたい。

矢澤委員 深沢地域の連合町内会会長を務めているが、パブリックコメントの中でも深沢地域整備事業用地に対するアレルギーがあるものと感じている。ただし、深沢地域整備事業についても市役所の移転に伴って動き出していかなければならないと感じており、鎌倉地域にお住いの方の不便はあるかもしれないが、鎌倉市全体の発展のために深沢地域も大事にしていかなければならない。我々も連合町内会の立場として協力して行く必要があり、深沢地域整備事業の構想の中にはまだ本庁舎は含まれていないが、実現に向けて進めていけると良いと感じている。

奴田委員 私自身、これまで市の様々な委員会に関わっているが、それぞれの委員会が一

緒になって初めてまちづくりができるものと感じている。これからは、そのような方々も一緒になって議論できる場を設けていき、市の土地利用計画や道路計画も上手く活用できれば良いまちづくりができるのではないかと感じている。

井手委員

実際には4回の委員会だったので少ない印象もあるが、パブリックコメント等も踏まえて提言の形になっているかと思われる。今後は、この計画がいつ実現するのかが気になるところであり、議論を慎重に行うにしてもなるべく早く実現させることが重要である。

国吉委員長

皆様1年間ありがとうございました。

本日は地元委員と私のみの出席であった。専門家委員が出席されなかったのは残念であるが、文化財分野の河野委員、PPPや民間協力の分野の増井委員、防災分野の目黒委員の3名からもこれまで意見を頂戴してきており、全国的な傾向なども踏まえた議論ができたと感じている。

鎌倉全市において、公的な施設がどうあるべきか、オフィス機能としての庁舎がどこにあるべきか、防災に対する機能をどこに確保していくべきかという議論が重視された。すぐに実行できる部分も限られる中で方向性を出すことが求められた委員会ではあるが、現在地における課題や工事費等の難しさから他の候補地の抽出も行ってきた。挙がっている候補地に最終的に決定するかは現時点では明言できないが、現在の本庁舎の老朽化の状況も踏まえると早めの対応が求められるものと考えている。

個人的には都市の個性を生かして発展し、豊かになることを願っている立場である。そのために歴史的価値や景観面などを大事にするとともに、経済的にも発展していくことを工夫すべきまちでもあると感じており、市側には幅広い視点で検討してほしいと考えている。

以上で第5回委員会を終了させていただく。皆様ありがとうございました。